

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
電話 (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 大場雅信
購読料 一部10円は組合費を含む
メールアドレス naga-kks@fslinet.or.jp

網の目教研第一弾

県北地区クラスづくり 学習会に11人が参加

高教組は、1月に開催した中央委員会の運動方針の中で、県下各地での網の目教研の開催を提起していましたが、その第一弾として、クラスづくりについての学習会を3月6日に佐々町文化会館で開催し、未組合員6人を含む11人が参加しました。

学習会では、元高教組委員長の田島章さん（波佐見分会）が講師となっていました。

以下、参加者の感想（一部）を紹介します。

〇経験に基づいたお話で大変勉強になりました。行事を通して生徒を理解するという考え方は今までなかった。自分自身、積極的に行事に取り組むたいと思います。

〇学級経営をする上で、個人との関係をいかにつくり、自分たちで決めさせるか（班長会議等）が大切だと感じた。

〇今日の学習会を通して、様々な学級経営の方法があることを知った。「学級閉じ」がもうすぐ控えているので何かしら工夫したい。

〇今後、クラス経営をしていく上で具体的な取り組み方を教えていただき、大変参考になりました。来年がんばりたいと思います。

網の目教研やミニ学習会を開催しよう！

高教組本部は、3人以上の参加者があれば、支部や分会の要請に応じて講師を派遣することにしています。未組合員も含めて若い教職員に積極的に声をかけて、県下各地で網の目教研やミニ学習会を開催しましょう。

3・5中央行動 ため込んだ内部留保は 雇用と賃金に回せ！

13春闘の山場をひかえた3月5日、13春闘における正規・非正規、民間・公務すべての労働者の大幅賃上げ、全国一律最賃1000円以上の実現などを求めて、全労連・国民春闘共闘による中央行動がとりくまれ、様々な行動に、全国各地から3000人が参加しました。長崎高教組からも諫農分会の末吉さん・島雄さん、島商分会の前原さんの3人が参加しました。

中央行動は、11時すぎから最賃引き上げ、公務員賃金改善、社会保障制度充実などを求める厚労省・人事院前で要請行動が行われ、12時すぎからは日比谷野外音楽堂で

「13春闘勝利をめざす3・5総決起集会」が開かれました。集会には各省庁前行動や院内集会などを終えた公務・民間の仲間が会場に駆けつけ、2000人が参加しました。

集会では、主催者を代表してあいさつした全労連の大黒議長が、「267兆円の内部留保をため込む大企業に、社会的責任を果たさせることがどうしても必要だ。マスコミも賃上げが必要と報道し、経団連への批判も強まっている。私たちの力で賃上げの風をもっと強く吹かせよう。国民と力を合わせてねばり強くたたかおう」と呼びかけました。その後、自交総連（タクシー等）の交通運輸関係の労組・全教・いわて生協労連・自治労連・医労連から春闘を闘う決意表明があり、最後に、参加者全員で団結ガンバロウを三唱して集会を締めくくりました。

集会後はただちに銀座パレードに出発し、ノボリ旗や横断幕、プラカードなどをかかげ、「賃上げでこそ景気回復を」「暮らしを壊すTPP参加反対」などとシュプレヒコールをあげて目抜き通りを歩くとともに要求を訴えました。

銀座パレードを終えた参加者は、大手町の経団連ビルに歩いて移動し、「ため込んだ内部留保は雇用と賃金に回せ！日本経団連包囲行動」にとりくみました。主催者あいさつした国民春闘共闘代表幹事の伊藤東京地評議長は、「公務員の賃上げは、デフレ脱却という安倍内閣の政策と矛盾して

いる。原発推進やTPP参加など財界がねらう攻撃に反対して、国民との共同を地域から強めよう」と、横暴勝手をつづける財界へのたたかいを呼びかけました。この後、郵政産業ユニオン・全労連全国一般などから決意表明があり、全労連女性部の大西事務局長のリードで、参加者全員が経団連ビルにむかって怒りのシュプレヒコールをぶつけました。

集会後のパレード



藤田さんは、自然界に放出された放射性物質は、半減期によって時間とともに危険性が低くなるのではなく、生物濃縮で濃度が上がることを指摘し、1万年に満たない文明しかもたない人類が10万年以上管理が必要な放射性廃棄物を生み出し続けている愚かさを強調しました。

集会終了後、多くの参加者は長崎駅前まで、原発をなくそう、「再稼働反対」と沿道の市民にアピールしながらパレードを行いました。

「3・10さようなら 原発ながさき広場」

3月10日、「さようなら原発1千万アクション・ナガサキ」の主催で、つなごろうフクシマ！さようなら原発ながさき広場」と題する集会在長崎市平和会館で開催され、県下各地から約600人が参加しました（高教組からは10人が参加）。

集会は、うたごえ協議会などによるオープニングライブから始まり、原発事故による放射能の影響から子どもを守るために九州などに避難している母親たちの姿を撮影した「100人の母たち」のストライド上映、レダエシンガーのランキンクタンシーとギターリストのノダ

双葉市から愛知に避難している大沼勇治さんから報告がありました。大沼さんは小学生時代に作った「原子力 明るい未来のエネレギー」という標語が町に採用され、大きな看板となって現在も

示しました。

続いて、1979年のスリーマイル島原発事故以降、長く反原発市民運動を続けている藤田祐幸さん（長崎県立大学非常勤講師）のミニ講演がありました。

お詫びと訂正

前号の中央委員会の記事で、「北松支部・平湯中央委員」とあったのは「佐世保支部」の誤りでした。深くお詫びし、訂正します。

紹介議員は民主党18人、共産党14人など8党と無所属議員から合計47人へのぼっています（別表参照）。提出された署名総数は6447筆、私学集約分が750万5061筆で、合計862万9708筆に達しました。安倍自公政権が国会に提出している来年度予算は、少人数学級を前進させるための予算を一切認めず、小学2年生まで定着した35人学級以下拡大の流れを止めるものになっています。そのため、集会終了後、来年度も国の

所属	人数
民主党	18
共産党	14
自民党	6
社民党	3
公明党	1
維新の会	1
みんなの党	1
生活の党	1
無所属	2



銀座パレード

